

群馬県感染症発生動向調査情報（週報） 【富岡保健所Ver.】

令和5年第14週（令和5年4月3日～4月9日）

令和5年4月12日

富岡保健所

★結核は過去の病気ではありません★

群馬県では令和3年に123人の結核患者が新たに登録されており、結核はまだまだ注目されるべき感染症です。年齢別にみると70歳以上の高齢者が6割近くを占めています。今回はそんな結核に焦点を当ててお知らせします。

★どんな病気？

- ・結核を発病した患者が咳やくしゃみなどをした時に出るしぶきと一緒に結核菌が空気中に飛び散り、それを吸い込むことで感染します。
- ・感染者の約2割が発病し、咳や痰、微熱、倦怠感などの風邪のような症状が出ます。特に咳や痰が2週間以上続く場合には注意が必要です。
- ・また、感染しても免疫の働きによって症状が出ない方もいます。このように、結核菌には感染しているものの、発病していない状態を「潜在性結核感染症」と言います。ただし、病気などで免疫力が落ちると結核菌が再び活動を始め、発病することがあります。

★早期発見・早期治療が重要です。

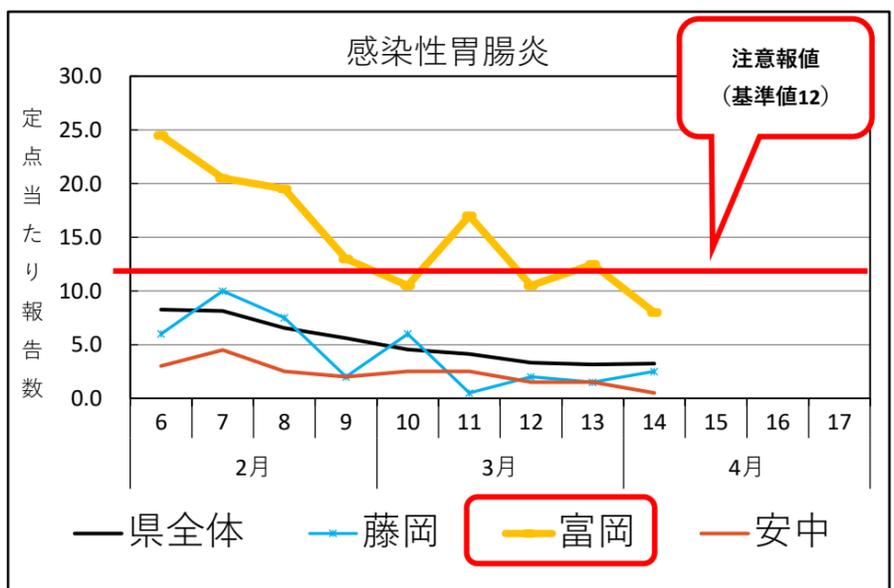
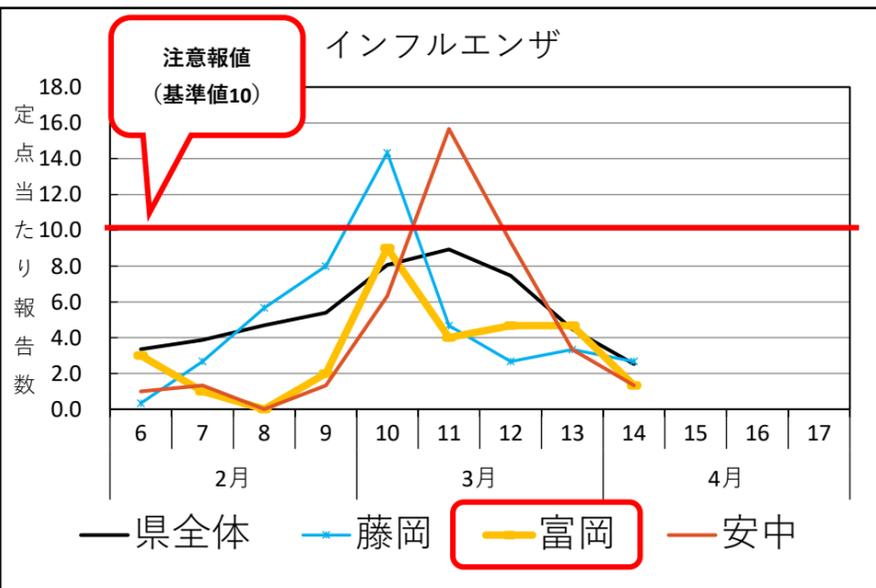
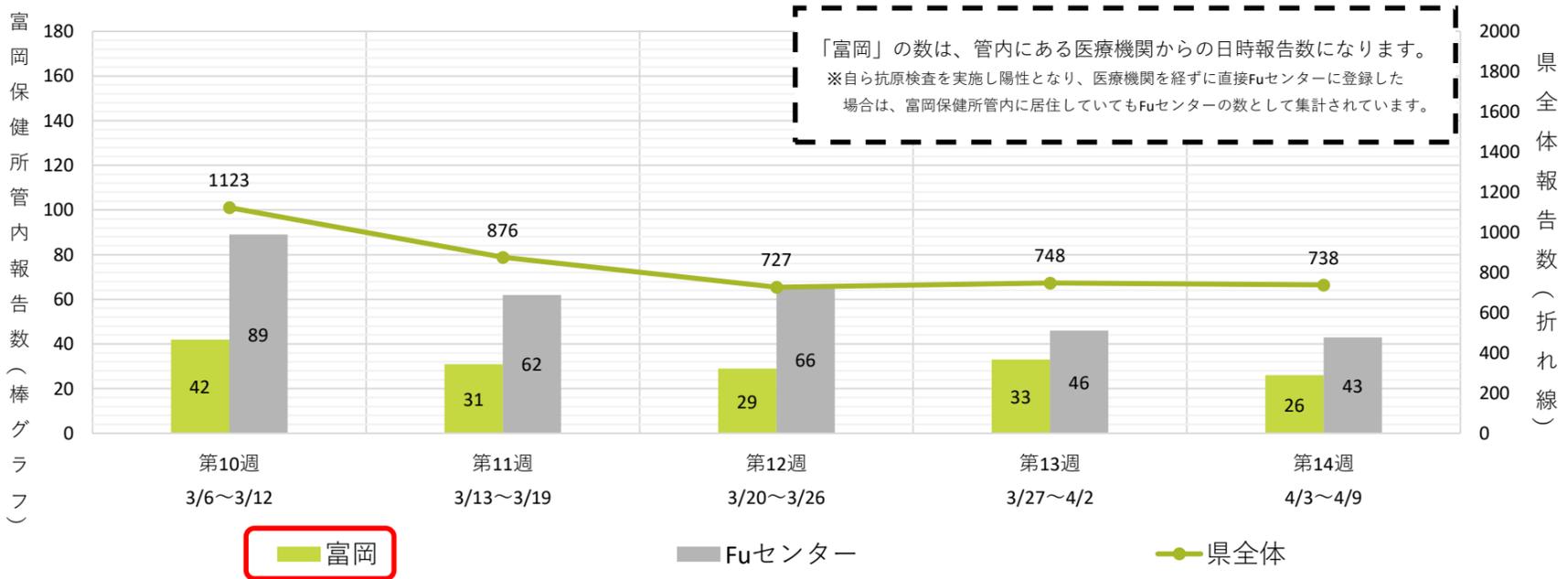
- ・咳や痰、微熱、倦怠感が続く場合には、結核を疑って医療機関を受診しましょう。「いつもと違う」様子の変化に気づくことが大事です！
- ・結核は一定期間きちんと薬を飲み続ければ治すことができる病気です。
- ・65歳以上の方は、年に1回の健康診断が無料で受診できるので、必ず受けましょう。

全数報告（富岡保健所管内）

・結核（潜在性結核感染症） 1件

【新型コロナウイルス感染症の日次報告数】

<週単位> 富岡保健所管内,県フォローアップセンター（Fuセンター）,県全体



※感染症法に基づき実施されている感染症発生動向調査（群馬県）のデータを元に集計・作成しております

★その他の感染症の情報は群馬県ホームページで公開しています★

「群馬県感染症情報」で検索するか、以下URLもしくはQRコードからご確認ください。

<https://www.pref.gunma.jp/page/3296.html>

